

# 小矢部市立東蟹谷公民館

## ◆事業の目的

自然のファンタジー「悠久の星空」を自作望遠鏡（狙い：自作することにより、仕組みが分かり壊れても修復できる子に）で観察できる喜びを感じ、更にどれくらい観察できるかという好奇心を抱かせ、子ども達が少しでも天文・宇宙に興味を持つ機会としたい。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月9日（土）	親子望遠鏡作り	東蟹谷公民館	26名
7月10日（日）	自作望遠鏡と中型望遠鏡で夏の星空観察	〃	28名
10月22日（土）	オリオン座流星群と地球のできた歴史等 プラネリウム	〃	34名
12月3日（土）	星の生死、月食・宇宙の気圧実験等 プラネリウム	〃	28名

## ◆事業の様子

### ☆ 親子望遠鏡作り

筒の組合せ、工夫してレンズを固定、望遠鏡の生命線のしぼり紙を貼るなど親子で細かな工作に勤しみ、休憩をはさんでネジ、ドライバー、ボンドを使っての三脚作りと完成まで想定外の時間を要した。しかし子供達は、それぞれの出来ばえに大満足だった。



### ☆ 星空観察会 !自作望遠鏡を星空に!

好奇心いっぱいでお観察に臨み、月のクレーターが鮮明に見えると大歓声!! 小さいながらも土星の輪も見え・・・星の色や明るさの違い、不思議な天体、果てしない宇宙のなぞに毎回新しい感動を覚える観察会だった。



### ☆ 地球の歴史等 映像



大陸ができ、生物誕生、火山の爆発、恐竜時代、巨大石ができ人間誕生と 35 億年かけての地球進化の様子、また石油・石炭は、40 億年かけてできた等の映像を興味津々で観て、人間は英知を使い「地球を大事にする」ことが大切なことを学習した。

## ◆事業の成果と課題

望遠鏡を自作したことにより、その仕組みを理解し壊れても修復でき、物を大切にする機運が醸成された。またいつでも観たい時に星空観察できる喜びの意義は非常に大きく、子供達が天文学者を夢見る一助となれば幸いと考える。秋・冬の観察会は、厚雲や小雨で観察できず、残念がる子供達を見るにつけ、自然相手の難しさを実感した。雨天時対応を考慮しての講師には、感謝するばかりである。